



大 幼



令和6年度

園長だより No.6

令和6年 11月 3日

運動とあそびは最強タッグ

運動会日和といえる晴れ渡った10月12日土曜日でした。多くの方が園児の運動あそびを観るために附属幼稚園に集まってくれました。今年も保護者を始め大学生・中学生・小学生といった多くの附属幼稚園関係者と「共に」運動会を創っていくスタイルを看板に掲げての開催としました。

園児たちは、日頃から親しんできた運動あそびを見てもらえるとあって、ワクワク・ドキドキが止まりません。もちろん職員も同じです。多くの人の前で自分を表現することは、得るものも大きいのですが、見られたくないという心情もよくわかります。

しかし、運動あそびで体を動かすと、なぜだか心も体もスッキリするから不思議です。大きな声を出せば、小っちゃな不安がふっ飛ばし、みんなで取り組めば、大きな喜びになります。



交流会の向こう側



今年は野菜の高値が続きました。園内の菜園も途中から一気に収穫量が減ったように見えました。芋畑のサツマイモも例外ではなく、例年と比べても収穫量が少ないようです。

17日(木)には年長さんと附特の中学部との交流会があり、体操やパズルリレーで体を動かしながら交流を深めたり、サツマイモの生長を画像で見て振り返ったりしながら、芋ほり交流会に向けて関係を深めました。

多様な人との出会いの中で、相手のペースに寄り添いながら行動することや、共に楽しむこと等の経験を今後につないでほしいと思いました。

彩りPTAに寄せて



今までに経験してないものとの出会いは、見通しが立ちづらく準備に時間がかかる。11月16日(土)の彩りPTAは、幼稚園の創立100周年に向けてのホップとなり、園庭が鮮やかで華やかになるといいなと思っている。大分県塗装防水仕上工業会大分支部さんのご協力もあって専門的な彩りがあり、幼児期特有の柔らかな感性から生まれる絵や大胆にペンキを使っただけの色塗り、それから保護者から彩りコーナーへの提供話もありがたくいただいている。この彩りは、私たちの感性も関係性も満たされる日になるのかもしれない。

運動会の片付けの折、保護者から「園長先生、晴男でしょ」と言われた。「11月で決まりますね」と答えた。天気も彩ってくれることを願っている。